

表5 特殊分類別鉱工業生産指数増減率

平成2年=100

	対前年増減率 (%)				8年四半期別・対前期増減率 (%)			
	5年	6年	7年	8年	1~3月期	4~6月期	6~9月期	10~12月期
鉱工業	△ 2.7	△ 3.5	2.5	4.7	6.3	△ 1.1	6.9	△ 1.0
最終需要財	△ 1.7	△ 7.4	0.4	9.0	9.6	△ 0.4	10.8	△ 1.0
投資財	△ 0.6	△ 4.7	4.3	5.8	14.6	△ 5.8	5.2	△ 2.6
資本財	△ 3.3	△ 5.6	10.8	11.2	9.2	2.9	3.2	1.2
建設財	3.1	△ 3.5	△ 4.0	△ 2.1	22.1	△ 18.6	9.5	△ 8.1
消費財	△ 3.3	△ 11.1	△ 5.4	14.2	1.7	11.1	17.4	1.4
耐久消費財	△ 5.3	△ 14.2	△ 8.0	20.3	4.3	16.1	23.2	4.0
非耐久消費財	0.8	△ 5.4	△ 1.1	4.7	△ 3.9	3.3	9.4	△ 3.1
生産財	△ 3.6	0.6	4.4	0.7	2.4	△ 1.9	3.3	△ 0.2
鉱工業用生産財	△ 3.9	0.4	4.4	0.8	2.4	△ 2.0	3.3	0.4
その他用生産財	2.0	4.5	4.3	△ 1.6	3.4	0.8	3.9	△ 15.8

表6 特殊分類別鉱工業生産者製品在庫指数増減率

平成2年=100

	対前年増減率 (%)				8年四半期別・対前期増減率 (%)			
	5年	6年	7年	8年	1~3月期	4~6月期	6~9月期	10~12月期
鉱工業	△ 1.3	△ 3.4	1.9	2.0	4.0	0.5	0.6	△ 6.0
最終需要財	4.3	△ 5.7	△ 5.7	△ 9.3	14.3	△ 9.4	△ 2.7	△ 10.5
投資財	13.4	△ 10.5	3.7	△ 7.1	12.1	△ 11.3	△ 1.8	△ 2.4
資本財	35.1	△ 14.8	11.3	△ 1.1	23.4	△ 9.3	△ 4.6	△ 6.7
建設財	△ 9.4	△ 3.8	△ 7.0	△ 17.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 0.4	△ 2.6
消費財	△ 10.5	4.3	△ 22.4	△ 14.4	17.6	△ 6.6	△ 6.4	△ 22.9
耐久消費財	△ 12.6	0.9	△ 47.7	△ 18.8	8.4	△ 5.9	△ 15.0	△ 17.1
非耐久消費財	△ 8.4	7.8	1.2	△ 12.3	19.3	△ 11.8	△ 2.3	△ 18.0
生産財	△ 4.4	△ 2.0	6.2	7.8	△ 1.6	4.9	2.6	△ 2.7
鉱工業用生産財	△ 3.7	△ 2.4	7.0	7.7	△ 1.8	5.0	2.1	△ 2.6
その他用生産財	△ 15.3	3.8	△ 8.4	9.5	2.7	5.1	11.1	△ 4.1



「季節調整」とは?…2

季節要因を取り除いた指数を「季節調整済指数」といい、そのままのものを「原指数」といいます。

季節要因を取り除くためには、季節調整法を用いるのですが、それにはいろいろな種類があり、有名なものでは、鉱工業指数の為に通産省が独自に作成した「MITI法Ⅲ-R」、アメリカセンサス局が開発した「センサス局法」(X-11)等があります。

現在、三重県では通産省とおなじ「MITI法Ⅲ-R」を用いて季節調整を行なっています。